

駒ヶ岳

○東北太平洋沖地震前後の基線長変化

3月11日に発生した東北地方太平洋沖地震にともなう山体周辺の変形を把握するために、地震前後におけるGPS観測点間の基線長変化を調べた。図1の基線の上段にはおおよその基線長，下段には地震前(2月9日～3月10日)および地震後(3月12日～4月10日)の30日平均基線長の差を示した。北海道駒ヶ岳周辺では南北方向に伸張，東西方向に短縮の傾向が見られる。(KM7Gは機器不調により参考値)

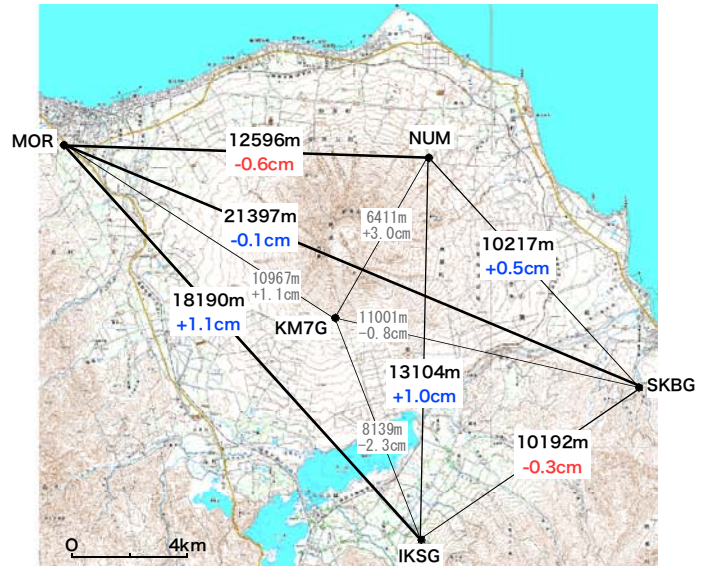
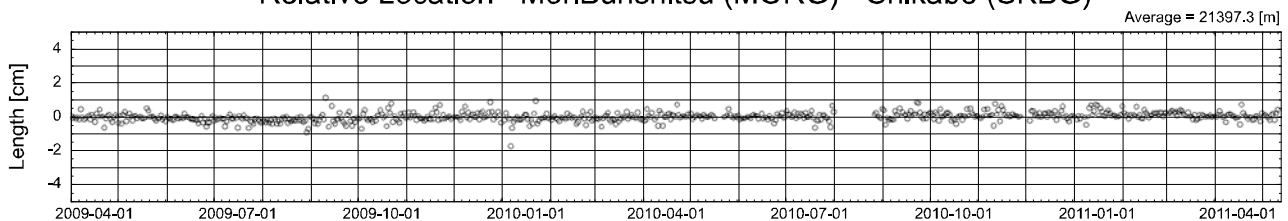
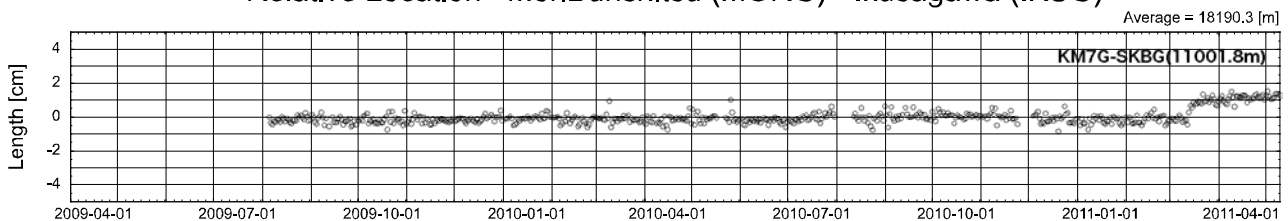


図1. GPS観測点分布図および東北太平洋沖地震前後の基線帳変化. 国土地理院発行の5万分の1地形図「駒ヶ岳」及び「大沼」を使用. KM7Gを基準とした放射基線の変化は機器不調により参考値.

Relative Location MoriBunshitsu (MORG) - Shikabe (SKBG)



Relative Location MoriBunshitsu (MORG) - Ikusagawa (IKSG)



Relative Location MoriBunshitsu (MORG) - Numajiri (NUMG)

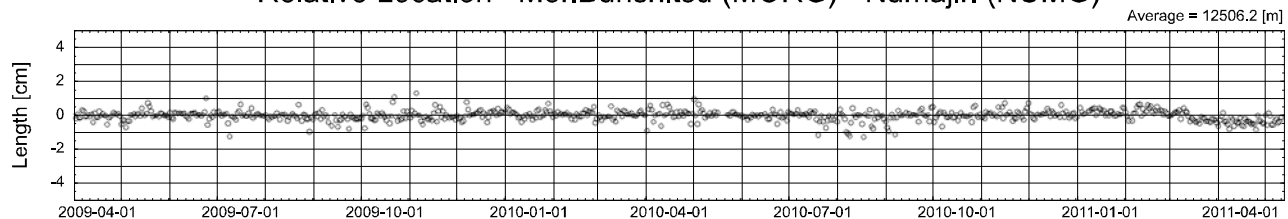


図2. 森分室を基準とした3観測点の基線長変化(図1の太い実線)

(大島)

(北海道駒ヶ岳)